

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【公表番号】特表 2019-513769 (P2019-513769A)

【公表日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2018-553392 (P2018-553392)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/74 (2015.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 38/20 (2006.01)

A 6 1 L 15/36 (2006.01)

A 6 1 L 15/44 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/74 A

A 6 1 K 35/74 D

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 38/20

A 6 1 L 15/36 1 0 0

A 6 1 L 15/44 1 0 0

A 6 1 K 9/70

A 6 1 K 9/12

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 37/08

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アトピー性皮膚炎を処置するための医薬組成物であって、前記医薬組成物は：  
生菌であり、かつドナー被験体の皮膚から単離された、アトピー性皮膚炎の処置に有効  
な量で存在するロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株と；  
薬学的に許容可能な担体と  
を含む、医薬組成物。

【請求項 2】

前記ドナー被験体はアトピー性皮膚炎を有していない、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記医薬組成物は局所剤形で製剤化される、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記医薬組成物は、クリーム、ゲル、膏薬、発泡体、軟膏、および液体から選択される

局所剤形で製剤化される、請求項 1 - 3 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は、 $10^4 - 10^{12}$  のコロニー形成単位の量で存在する、請求項 1 - 4 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は精製される、請求項 1 - 5 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は、黄色ブドウ球菌を減少させるのに十分な量で存在する、請求項 1 - 6 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は、ロゼオモナス・ミュコーサの最大 5 つの株を含む、請求項 1 - 7 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は、ロゼオモナス・ミュコーサの最大 3 つの株を含む、請求項 1 - 7 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記薬学的に許容可能な担体はスクロースを含む、請求項 1 - 9 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記薬学的に許容可能な担体はスクロースである、請求項 1 - 9 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 12】

アトピー性皮膚炎の局所処置のための製剤に使用するための、請求項 1 - 11 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 13】

アトピー性皮膚炎を処置するためのキットであって、前記キットは：  
医薬組成物を含む第 1 の容器であって、ここで、前記医薬組成物は、アトピー性皮膚炎の処置に有効な量で存在するロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株を含み、ここで、前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は、生菌であり、かつドナー被験体の皮膚から単離される、第 1 の容器と；  
薬学的に許容可能な担体を含む第 2 の容器とを含む、キット。

【請求項 14】

前記医薬組成物は凍結乾燥される、請求項 13 に記載のキット。

【請求項 15】

前記第 2 の容器の前記薬学的に許容可能な担体は、クリーム、ゲル、膏薬、発泡体、軟膏、あるいは液体を含む、請求項 13 あるいは 14 に記載のキット。

【請求項 16】

前記液体は水である、請求項 15 に記載のキット。

【請求項 17】

前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は、 $10^4 - 10^{12}$  のコロニー形成単位の総量で医薬組成物中に存在する、請求項 13 - 16 のいずれか 1 つに記載のキット。

【請求項 18】

前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は、ロゼオモナス・ミュコーサの最大 5 つの株を含む、請求項 13 - 17 のいずれか 1 つに記載のキット。

【請求項 19】

前記ロゼオモナス・ミュコーサの少なくとも 1 つの株は、ロゼオモナス・ミュコーサの最大 3 つの株を含む、請求項 13 - 17 のいずれか 1 つに記載のキット。